

令和6年度 学校経営方針

1 校 訓 「敬愛」 「自啓」 「健康」

- 自らに厳しく、他人の痛みがわかる心豊かな人間を育成する（敬愛）
- 学業と特別活動・課外活動等に励み、自己の可能性を発見するとともに広く世界に知識を求め、自己啓発し続ける人間を育成する（自啓）
- 健康な身体と豊かな知性を持ち、社会に貢献する人間を育成する（健康）

2 学校教育目標

全教育活動を通して大間GP（グラデュエーションポリシー※1）として掲げた5つの能力の伸長と獲得を教育目標とする。

- （1）自己肯定力：自分の長所・短所の両面を理解し、他者の存在も価値あるものと認め、自他を愛し、よりよい人生を生きようと前向きに努力する力
- （2）実行する力：積極性と目的意識を持ち、自分のやるべきことを自分の意志で計画を立て、継続的に実行し、達成する力
- （3）考え抜く力：目に見えない問題に対しても想像力をもち、客観的にその本質を分析し、課題を明確にするとともに、その解決に向けた方策を計画し、柔軟な思考と創造力をもって完遂する力
- （4）協働する力：ルールや約束を守り、考え方や立場の違いを理解しつつ自分の意見をわかりやすく伝えるときとともに周囲を信頼して適切に働きかけ、目的達成に向けてチームとしての役割を果たす力
- （5）郷土を愛する力：地域の自然、歴史、文化、産業と生活等を知り、地域の課題に気づき、教科で学ぶ知識と地域との関係を深く理解するとともに地域に愛着を持ち、自分の成長と地域の未来に貢献しようと行動する力

3 令和6年度の重点目標

スローガン

地域に信頼され、地域に愛され、地域とともに歩む学校

個々の生徒の発達段階や個性を十分理解し、教育目標（大間GP）に掲げた5つの能力を伸長する教育活動を個に応じて適切に実践することにより、生徒一人一人が生き生きと学校生活をおくり、本県の未来を担う人財として成長するよう、生徒・保護者・教職員・地域が一体となって学校づくりを進め、生徒が「入学してよかった」、保護者が「進学させてよかった」、教職員が「勤めてよかった」、地域からは「あってよかった」と言われる大間高校を目指す。

（1）学習指導

～学ぶことの価値に気づき、学びを人生や社会に生かそうとする生徒の育成～

ア わかる授業の実践

生徒の実態と能力を的確にとらえ、指導内容を精選し指導法を工夫する。

イ 生徒が主体的に学ぼうとする授業の実践

知識の確実な定着をベースとし、主体的・対話的で深い学びにつながるよう

指導法を工夫するとともに生徒の情報発信・アウトプット能力を向上させる。

ウ 教科と社会がつながる授業の実践

各教科の学習内容と社会のつながりについて、知見と研究を深め、地域社会、異校種や関係機関と連携協働し、地域の教育資源を積極的に活用することで、知識・技能を習得させる。

エ 合理的配慮に立脚する授業の実践

生徒の特性を理解し、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成するなど、可能な限り生徒個々の目標に応じて個別最適な学びを進める。

オ チャレンジする授業の実践

教育目標達成のため、ICT等の教育機器、教材の利活用、新たな指導法や教授理論の検証等に積極的にチャレンジする。その一方で、教育の不易の部分を見極め、適切な授業の在り方について研究を進める。

(2) 生徒指導

～自他の個性を尊重し、他者との関わりについて考え、相手の立場に立って行動できる共感的な人間関係の育成～

ア 人権と多様性、人格と個性を尊重する価値観と正しい知識の定着。

イ 公德心の確立と生徒・保護者との信頼関係を基調とするほめる機会の創出。

ウ 家庭（保護者）と学校（教職員）の望ましい連携・協働の構築。

エ 健康と安全に関する正しい知識と適切な対処能力の定着。

オ 家庭・地域・異校種・関係機関等との連携による教育相談活動の充実。

(3) 進路指導

～全教職員の協働による、キャリア教育を柱とする主体的な職業観・勤労観の醸成と社会参画意識の高揚～

ア キャリアカウンセリングのマインドとスキルの向上をベースとし、あらゆる教育活動の機会をとらえる進路指導。

イ 進学意欲を向上させ、目標達成のための系統的・計画的・継続的進学指導の実践。

ウ 労働情勢を踏まえ、体験活動、資格取得指導等、適切な就業意識の醸成による就職指導の実践。

エ 生徒、保護者、地域社会への積極的な進路情報の提供をもとに、地域と連携協働する進路指導。

(4) 特別活動

～生徒が主役の主体的・実践的な活動～

ア 部活動への加入及び学校外活動の奨励と活性化。

イ 生徒が主体的に活動計画を立て実行できる達成感のある特別活動。

ウ 生徒主体の学校行事や生徒会活動による自己肯定感の醸成。

エ ボランティア活動や地域活動等の積極的取組みによる地域貢献と人間性の陶冶。

(5) 教職員のあり方（チーム大間高校）

～小規模校のメリットを最大限に生かす教職員集団～

ア 自分事として学校課題を整理・共有し、解決に向けて知恵を出し合う教職員集団。

イ 研修や自己啓発に励み、得られた情報・知見を積極的に共有する教職員集団。

ウ 何事も組織（チーム）で取り組み、生徒とともに成長する教職員集団。

- エ 下北・北通り地域の歴史・文化・自然・産業・生活等を知り、愛する教職員集団。
- オ 生徒をよく観察し、「ほめて伸ばす指導」を実践する教職員集団。
- カ 生徒を取り巻く社会情勢・学校教育課題等に係る情報を保護者や地域に提供し、地域とともに開かれた学校をつくる教職員集団。
- キ 他校種や地域の教育関係者と積極的に連携し、広く地域の児童・生徒の成長を目指す教職員集団。

5 職務遂行上の心構え

- (1) 教育公務員としての崇高な使命と責任(※2)を自覚するとともに、常に自己研鑽・自己啓発に励む。
- (2) 法令遵守(※2)を徹底し、非違行為を根絶する。(体罰、パワハラ、セクハラ、個人情報漏洩、交通事故・違反、飲酒運転、わいせつ行為、公金等不正経理等)
- (3) 迅速な「報告・連絡・相談」と情報の教頭・事務長への集約を徹底する。
- (4) 互いの職務内容を知り、支えあい、気軽に色々なことを相談でき、休暇が取りやすいなど、風通しの良い明るく清潔で働きやすい職場環境をつくる。
- (5) 5S(「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰)」(※3)を徹底し、教育活動における大間高校のスタンダードを統一し、そのレベルを向上させる。

※1 大間GP：グラデュエーションポリシーについて

評価基準・評価要素(ループリック評価表)

項目	C (☆)	B (☆☆)	A (☆☆☆)	S (☆☆☆☆)
① 自己肯定力	小さいことでも成功体験・達成感を感じることができる	自分の努力や進歩を認めることができる	短所も含めて自分の個性・特性を理解し何事にも積極的に取り組むことができる。	短所も含めて他人の個性・特性を理解し、自分の言動に責任を持って何事にも積極的に行動できる。
② 実行する力	指示されたことについて、すぐに行動に移すことができる。	指示されたことを正確に実行するとともにその意味を考え工夫して行動できる。	積極的・主体的に自らがなすべきことに対し、計画的に実行するとともに日々継続することができる。	目的、目標を適切に設定し、計画を的確に打ち立てるとともに修正を繰り返しつつ、継続的に実行し、やり遂げることができる。
③ 考え抜く力	想像力を働かせていろいろなこと(目に見えないことに対しても)に興味関心を持つことができる。	様々な事象について問題意識を持ち、常に「自分事(じぶんごと)」として考えることができる。	いろいろな事象・問題について比較・分類・整理し、仮説を立てて考察を重ね、課題を発見することができる。	課題解決に向け、計画的に考察を重ねるとともに創造力をもち、柔軟かつ粘り強く考え抜き、新たな提案をする(真理を発見する)ことができる。
④ 協働する力	公共のマナーや必要とされる規律を守ることができる。	相手の話を丁寧に聞き取り、その意図を理解し要点を整理することができる。	独りよがりにならず、周囲に相談し、頼る力である「受援力」を働かせて行動することができる。	アサーティブなコミュニケーションができ、集団の目的達成に向けて周囲に働きかけ協働することができる。
⑤ 郷土を愛する力	地域の歴史や文化、生活様式等に興味関心を持つことができる。	地域のことにについて自発的・積極的に学ぶことができる。	地域と学校で学ぶ事象(授業や特別活動、行事等)との関わりに気づき、地域と積極的に関わろうとする。	学んだことを自分の将来に生かそうとするとともに地域に愛着を持ち、社会貢献につながる行動をとることができる。

※ 2 「教育公務員としての崇高な使命と責任」「法令遵守」について

憲法および教育関係法令等の遵守と尊重擁護義務の履行はもちろんのこと、青森県基本計画及び青森県教育振興基本計画等に即した教育活動を真摯に推進するものである。

※ 3 5 Sについて

整理	必要なものと不要なものを分ける。不要なものは捨てる。
整頓	必要なものの置き場所、置き方を決め、表示を確実にし、すぐに取り出せるようにする。
清掃	掃除をして、ゴミ、汚れのないきれいな状態にする。同時に、細部まで点検する。
清潔	整理・整頓・清掃を徹底して実行し、汚れのないきれいな状態を維持する。
躰	決められたことを決められたとおりに実行する習慣を身につける。

令和6年4月1日
青森県立大間高等学校長 三和 聖徳